

2008. 3. 1 3

日経産業

人材派遣大手グッドウィル・グループは十一日、米投資ファンドのサーベラス、米証券大手モルガン・スタンレー連合から支援を受けて事業の立て直しを図ると発表した。同社の絶对的な決定者として君臨してきた折口雅博会長も退任した。経営体制の刷新を好感し、同社の株価は十一日、ストップ高の二万六千四百円まで上昇した。

マーケット発

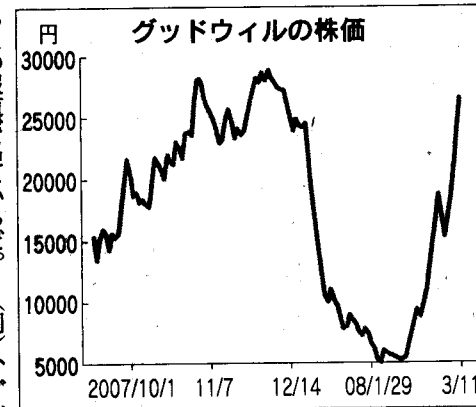
産業部

北西 厚一

ファンド支援、派遣再評価も

スタルをグッドウィル・グループが買収して国内人材最大手に躍り出たのは〇六年十一月。それ以降、同社の株価は上がり続け、同年末には一時十三万円近くに達した。しかし、その後は

グッドウィル



の人材事業は方。グッドウィル・グループの評価が高い。アの技術者派遣は二〇〇七年十二月中間期の売上高三事業停止処分千三百三十三億円のうち千業派遣のグッドウィルは先頭。少子化に加え、若者の行きが厳しい状況だが、元理数系離れが進んでいるクリスタルのクリスタル(合併・買収)を繰り返してグッドウィル(傘下)に全体で国内最多のシーテック一万人二千人が在籍している。

介護子会社などで不祥事が続き、今年二月一日には、最高時の三分の一に近い四千七百四十円と落ち込んだ。株価が反発したのは二月上旬、主力行のみずほ銀がグッドウィル・グループ向け債権の売却を検討してい

「債権の引き受け手が見つからなかった」が展開する技術者派遣は人員や契約社員として直接雇用し、教育したうえで企業に派遣するビジネスモデルのため、コンプライアンスの課題となる。

低いことも好感される判断材料だ。派遣というよりもむしろ「出向」の形態に近く責任の所在があいまいになる派遣独特の問題も発生している。

軽作業や製造業の監視体制強化に努めながら、技術者派遣を根幹事業に育て上げる。サーベラスが支援に乗り出したのも、技術者派遣がグループ全体を「大化け」に導く可能性があるからだ。

ただグッドウィル・グループは「折口氏がすべての経営判断を行ってきた(同社幹部)」という企業体質。法令順守強化を進めつつ、堀井慎一新社長、伊佐治生CFOを中心とする新経営陣が、全国に広がる組織網をどう統率するかが今後の課題となる。